

4.3.3 健康教育プログラム授業【3年③保健学習(3/5) 平成27年1月22日2校時】

I 授業構成資料

(1) 目標 自分たちの運動習慣パターン表の集計や様々なデータとの比較を通して、運動の大切さを理解することができる。 (思考・判断)

(2) 展開

学習内容 学習活動 ・発問や指示 予想される児童の反応	・活用資料																																																																																														
<p>1 前時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平均寿命を伸ばすためには何が大切だったかな。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>○生活リズムが大切。</p> <p>○バランスのよい食事をすること。</p> <p>○運動すること。</p> </div> <p>2 自分たちの運動習慣について知る。(科学的データの活用①)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>自分たちの運動について見直してみよう。</p> </div> <p>3 学習課題を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日はその中で運動について考えていきます。 <p>4 自分たちの運動習慣を知り、気付いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなさんの週間運動パターン表の集計を見て、グループで話し合い気付いたことを発表しましょう。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>○日によって歩数にばらつきがある。</p> <p>○平日は1万歩を超えてるけど、休みの日は1万歩に届いていない。</p> <p>○体育がある日はない日に比べて歩数が増えている。</p> <p>○休み時間や放課後に遊ぶと歩数も増えている。</p> </div> <p>5 データと比較する。(科学的データの活用②)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生の平均歩数や目標値、活動量のデータと自分たちの運動習慣とを比較して、気付いたことを発表する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>○目標の歩数は1万歩だから、自分たちは目標を達成している。</p> <p>○東京都の目標は1万5千歩だ。しかも、自分たちよりも歩数も多いし活動量も高い。</p> <p>○体育や遊びの種類によって歩数も変わってきている。</p> </div> <p>6 自分たちの運動を見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の自分の運動を見直し、健康な生活を送るためにはどのように運動を改善していけばいいか考えてみましょう。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>○自分は平均歩数は超えているけど、休み時間はあまり運動していない。休み時間には外や体育館で遊ぶようにしましょう。</p> <p>○平均歩数を超えていない。体育だけではなく休み時間も運動しよう。</p> <p>○平日は大丈夫だけど、休日に運動していない。ゲームの時間を減らして運動するようにしよう。</p> </div> <p>7 次時の予告をする。</p>	<p>・科学的データの活用①</p> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <p>3年3組の運動の様子(平均)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>曜日</th> <th>歩行数</th> <th>活動量</th> <th>運動時間</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月</td> <td>11,655</td> <td>1,545</td> <td>86</td> <td>体育あり</td> </tr> <tr> <td>火</td> <td>9,490</td> <td>1,490</td> <td>47</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>14,416</td> <td>1,581</td> <td>129</td> <td>体育あり</td> </tr> <tr> <td>木</td> <td>10,274</td> <td>1,516</td> <td>44</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金</td> <td>11,372</td> <td>1,548</td> <td>56</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土</td> <td>8,654</td> <td>1,481</td> <td>57</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日</td> <td>8,187</td> <td>1,462</td> <td>46</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <p>3年3組の運動の様子(平均)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>曜日</th> <th>学 校</th> <th>放課後</th> <th>昼休み</th> <th>体 育</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月</td> <td>6,924</td> <td>4,371</td> <td>578</td> <td>924</td> </tr> <tr> <td>火</td> <td>4,878</td> <td>4,613</td> <td>956</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>8,912</td> <td>5,505</td> <td>1,403</td> <td>1,171</td> </tr> <tr> <td>木</td> <td>6,155</td> <td>4,119</td> <td>(観劇)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金</td> <td>6,624</td> <td>4,749</td> <td>1,203</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: right; color: red;">【課題把握：身近さ、多様性】</p> <p>・科学的データの活用②</p> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">子どもの運動の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○WHO(世界保健機関) 1日40分の運動 ○日本体育協会 最低1日に総計して40分以上、歩数で1万歩以上 ○東京都 1日13,000歩 </div> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">参 考</p> <p>○他の地域の 子どもの歩行数調査結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>地 域</th> <th>男 子</th> <th>女 子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23東京都(3年生)</td> <td>13,956</td> <td>11,384</td> </tr> <tr> <td>H21新潟県(中学年)</td> <td>15,654</td> <td>13,375</td> </tr> <tr> <td>H22広島県(高学年)</td> <td>14,895</td> <td>10,480</td> </tr> </tbody> </table> <p>○体育授業の内容と、一日の平均歩行数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>体育授業内容</th> <th>平均歩数</th> <th>体育なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>持久走(4年生)</td> <td>14,342</td> <td>10,694</td> </tr> <tr> <td>ハードル走(5年生)</td> <td>11,241</td> <td>11,361</td> </tr> <tr> <td>サッカー(6年生)</td> <td>14,513</td> <td>12,122</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: right; color: red;">【課題解決：客観性、指標性】</p>	曜日	歩行数	活動量	運動時間	備考	月	11,655	1,545	86	体育あり	火	9,490	1,490	47		水	14,416	1,581	129	体育あり	木	10,274	1,516	44		金	11,372	1,548	56		土	8,654	1,481	57		日	8,187	1,462	46		曜日	学 校	放課後	昼休み	体 育	月	6,924	4,371	578	924	火	4,878	4,613	956		水	8,912	5,505	1,403	1,171	木	6,155	4,119	(観劇)		金	6,624	4,749	1,203		地 域	男 子	女 子	H23東京都(3年生)	13,956	11,384	H21新潟県(中学年)	15,654	13,375	H22広島県(高学年)	14,895	10,480	体育授業内容	平均歩数	体育なし	持久走(4年生)	14,342	10,694	ハードル走(5年生)	11,241	11,361	サッカー(6年生)	14,513	12,122
曜日	歩行数	活動量	運動時間	備考																																																																																											
月	11,655	1,545	86	体育あり																																																																																											
火	9,490	1,490	47																																																																																												
水	14,416	1,581	129	体育あり																																																																																											
木	10,274	1,516	44																																																																																												
金	11,372	1,548	56																																																																																												
土	8,654	1,481	57																																																																																												
日	8,187	1,462	46																																																																																												
曜日	学 校	放課後	昼休み	体 育																																																																																											
月	6,924	4,371	578	924																																																																																											
火	4,878	4,613	956																																																																																												
水	8,912	5,505	1,403	1,171																																																																																											
木	6,155	4,119	(観劇)																																																																																												
金	6,624	4,749	1,203																																																																																												
地 域	男 子	女 子																																																																																													
H23東京都(3年生)	13,956	11,384																																																																																													
H21新潟県(中学年)	15,654	13,375																																																																																													
H22広島県(高学年)	14,895	10,480																																																																																													
体育授業内容	平均歩数	体育なし																																																																																													
持久走(4年生)	14,342	10,694																																																																																													
ハードル走(5年生)	11,241	11,361																																																																																													
サッカー(6年生)	14,513	12,122																																																																																													

II 課題把握・課題解決の活用資料

○科学的データの活用①

A 児童歩行数データ(曜日別)【課題把握：身近さ】

A table with columns for day of the week (日, 月, 火, 水, 木, 金, 土, 日) and rows for various categories. The data is presented in a grid format with small text and numbers.

*運動習慣調査結果より

B 児童歩行数データ(項目別)【課題把握：身近さ】

A table with columns for item categories and rows for various categories. The data is presented in a grid format with small text and numbers.

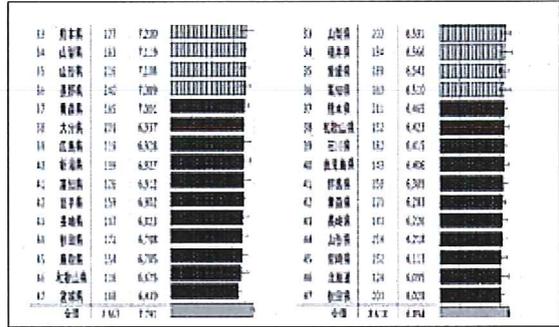
*運動習慣調査結果より

C 都道府県別平均歩行数データ【課題把握・多様性】

A table with columns for prefecture (都道府県) and rows for various categories. The data is presented in a grid format with small text and numbers.

*内閣府『平成20年版食育白書』より

D 都道府県別歩数の平均【課題把握・多様性】



*厚生労働省『平成24年国民健康・栄養調査結果の概要』より

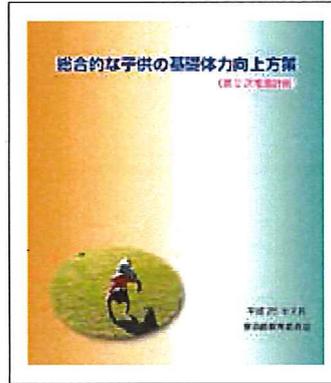
○科学的データの活用②

A 身体活動・運動の目標【多様性】



*日本学術会議『子どもを元気にする運動・スポーツの適正実施のための基本指針』より

B 身体活動・運動の目標【多様性】



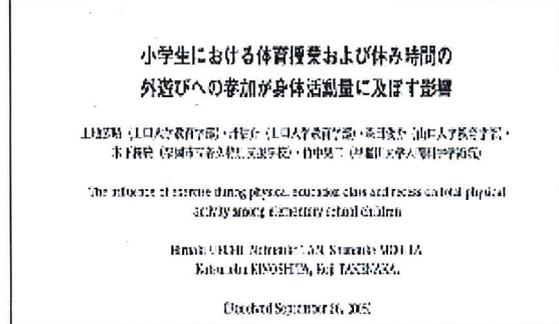
*東京都教育委員会『総合的な子供の基礎体力向上方策(第2次推進計画)』より

C 他地域の子供の歩行数【多様性】



*『発育発達研究第51号』より

D 体育授業の内容と平均歩行数【多様性】



*『山口大学教育学部研究論叢』より

Ⅲ 授業の実際【3年③保健】

1 自分たちの運動習慣について知る場面 (科学的データの活用①)



授業前に子ども達に活動量計を一週間付けさせ、歩数・活動量・運動時間を測定した。この時間では、曜日別の歩数・活動量・運動時間、学校と放課後の歩数、昼休みの歩数、体育の時間の歩数、それぞれのクラス平均を提示した。

子ども達は、データを見て3年生なりに自分たちの運動について振り返ることができていた。「思っていたより歩いている」や「火曜日が1万歩いっていない」などの感想をもつことができていたが、数字に気を取られ、課題把握まで至っている子どもは少なかった。

2 自分たちの運動習慣から気付いたことを発表する場面



まずは、自分たちの運動習慣から気付いたことを各自で記入させ、その後、発表して全体で共有していこうとした。しかし、3年生にとって、観点がないままでは何を書いてよいか分からなかったようである。そこで、全体で「曜日」や「学校と放課後」「平日と休日」などの観点を与え、再度考えさせた。その後の発表では、平日に比べ休日の歩数が少ないこと、学校にいる時間より放課後の歩数が少ないことなどを挙げていた。

発表の中で、放課後の外遊びについての観点が生まれ、それが自分たちの運動を見直すよい観点となった。

3 データと比較する場面 (科学的データの活用②)



自分たちの運動習慣を見直す観点として、WHOや日本体育協会で示されている子どもの身体活動・運動の目標値を提示した。また、参考資料として、他地域の子どもの歩数に関する研究結果や体育授業の内容による歩数の違いに関する研究結果を提示した。6年生で提示した運動強度については、発達段階を考慮し省略した。

子ども達は、科学的データとの比較の結果、歩数に関しては目標値を達成しているが他地域よりも少ないことや、平日よりも休日の運動に課題があることなどを理解した。

4 自分たちの運動を見直す場面



子どもの感想より

放課後は家にいないで、なるべくサッカーや鬼ごっこなどをして外遊びをするようにすればよいと思う。

家に帰ったら、テレビゲームを控えてなるべく外遊びをするようにする。

体育がある日は放課後15分、ない日は休み時間や放課後合わせて60分運動するように心がける

IV 考察

1 自分たちの運動習慣について知る場面 (科学的データの活用①)

授業前に行った運動習慣調査の結果を提示し、課題意識をもたせることをねらいとした。「曜日別の平均歩数」「活動量」「運動時間」の他に「学校と放課後」「昼休み」「体育」の歩行数を提示したが、数値に気を取られ課題把握まで意識させることはできなかった。

データの示し方に課題が残る。3年生にとっても観点が分かりやすいように、細かく分類して提示したり観点の色を変えて提示したりするなど、提示の工夫が必要であった。また、6年生同様に活動量は必要なく、提示するデータの精選が必要であった。

○課題及び改善の方策

・大学教員からの指導・助言

歩数・活動量・運動時間のデータの『違い』が大切であるが、違いは明確だったが3年生にとってそれが観点とならなかつた。

・指導主事からの助言・助言

データの示し方だが、6年生と同じように提示したが、3年生にとっては観点が多すぎたのではないか。そのため、数値にだけ目がいき課題としてとらえられなかつたのでは。

2 自分たちの運動習慣から気付いたことを発表する場面

自分たちの運動習慣から気付いたことを、まずは個人で見付けさせ、それをクラスで共有していった。

3年生にとっては難しい内容であったようである。観点を示さないままの活動となったことが課題として挙げられる。「曜日」や「平日と休日」「学校と放課後」の観点を示した後は気付いたことを書くことができたので、初めから観点を示しておく必要があった。

今回は、6年生と同じデータの示し仕方をしたが、発達段階を考慮して示すことで、スムーズに活動を行うことができると思われる。

○課題及び改善の方策

・大学教員からの指導・助言

データ事態はよかつたが、それが観点とならなかつた。提示の工夫が必要。しかし、即座に教師から観点を与えたのはよかつた。

・指導主事からの助言・助言

電子黒板で示したデータが子ども達の手元にもあれば、いつでもデータを確認することができ分かりやすく、活動もしやすかつたのではないか。

3 データと比較する場面 (科学的データの活用②)

自分たちの運動習慣の課題をとらえ、それを改善していくための観点として、様々な科学的データを提示した。「歩数の目標値」や「他地域の子どもの歩数」のデータは分かりやすく子ども達の反応もよかつた。発達段階を考慮し、6年生で示した「運動強度」のデータは示さなかつた。

ここで使ったデータも6年生と同じものであつたが、3年生にとってもっと分かりやすいデータの提示が必要である。子どもが目で見分ける資料、データの精選が必要である。

○課題及び改善の方策

・指導主事からの指導・助言

活動2では観点が分からずに苦労したが、気付きの発表を共有して、運動全体から放課後に視点が移り、外遊びへとつながっていった。その活動をふまえての科学的データの活用であつたので、よいデータだつたと言えるのではないか。

本時の評価規準に「健康のための運動」とあるが、どうつなげていくかが課題である。

4 自分たちの運動を見直す場面

子ども達は、「歩数の目標値」や「活動量の目標値」を観点に改善方法を考えていた。特にこの授業では、放課後や休日の運動に目を向けさせ改善方法を考えさせた。

自分たちの運動習慣を見直すよい機会となつたが、考えた改善策を実行していくことが大切である。そのためには、家庭との連携や地域施設やイベントの紹介など、体育以外での取り組みも必要となってくるのではないかと考える。今後、定着のためにどのように取り組んでいくかが課題である。

科学的データとして、「体育授業での歩数」も提示したことは、次時につながるよい資料であつたと考える。

○課題及び改善の方策

・大学教員からの指導・助言

観点を基に改善策をよく考えていた。「登下校の歩数」に目を向けさせれば、土日の改善につながっていくのではないか。

・指導主事からの助言・助言

改善策を個別に返すのは難しい。そこで、例を示したりアドバイスシートで相互評価したりすれば、理解や表現につながっていくのではないか。

4.3.4 健康教育プログラム授業【3年④体育（4/5）平成27年1月26日3校時】

I 授業構成資料

- (1) 目標 健康な生活を送るために自分たちの運動習慣を見直すことを通して、アドバイスしたり改良したりしながら運動の行い方を工夫することができる。 (思考・判断)
- (2) 展開

学習内容 学習活動 ・発問や指示 予想される児童の反応	活用資料																																																						
<p>1 前時の保健学習から、自分たちの運動習慣について振り返る。 (科学的データの活用①)</p> <p>・前時に自分たちの運動習慣を見直し、どんなことが大切でしたか。</p> <p>○休み時間にあまり運動していないから、体育だけではなく休み時間には外や体育館で遊ぶようにすることで、歩数や活動量が増える。</p> <p>○休日にも運動すること。</p> <p>○1日の目標は、歩数が1万5千歩、時間が1時間。</p> <p>○体育の授業内容でも、歩数は変わってくる。</p>	<p>・科学的データの活用①</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; color: yellow;">3年3組の運動の様子(平均)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>曜日</th> <th>学 校</th> <th>放課後</th> <th>昼休み</th> <th>体 育</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月</td> <td>6,924</td> <td>4,371</td> <td>578</td> <td>924</td> </tr> <tr> <td>火</td> <td>4,878</td> <td>4,613</td> <td>956</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>8,912</td> <td>5,505</td> <td>1,403</td> <td>1,171</td> </tr> <tr> <td>木</td> <td>6,155</td> <td>4,119</td> <td>(観劇)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金</td> <td>6,624</td> <td>4,749</td> <td>1,203</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>参考</p> <p>○他の地域の子どもたちの歩行数調査結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>地 域</th> <th>男 子</th> <th>女 子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23東京都(6年生)</td> <td>13,372</td> <td>9,950</td> </tr> <tr> <td>H21新潟県(高学年)</td> <td>15,385</td> <td>13,390</td> </tr> <tr> <td>H25広島県(高学年)</td> <td>14,895</td> <td>10,480</td> </tr> </tbody> </table> <p>○体育授業の内容と、一日の平均歩行数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>体育授業内容</th> <th>平均歩数</th> <th>体育なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>持久走(4年生)</td> <td>14,342</td> <td>10,894</td> </tr> <tr> <td>ハードル走(5年生)</td> <td>11,241</td> <td>11,361</td> </tr> <tr> <td>サッカー(6年生)</td> <td>14,513</td> <td>12,122</td> </tr> </tbody> </table> <p style="color: red;">【課題把握：身近さ、指標性】</p>	曜日	学 校	放課後	昼休み	体 育	月	6,924	4,371	578	924	火	4,878	4,613	956		水	8,912	5,505	1,403	1,171	木	6,155	4,119	(観劇)		金	6,624	4,749	1,203		地 域	男 子	女 子	H23東京都(6年生)	13,372	9,950	H21新潟県(高学年)	15,385	13,390	H25広島県(高学年)	14,895	10,480	体育授業内容	平均歩数	体育なし	持久走(4年生)	14,342	10,894	ハードル走(5年生)	11,241	11,361	サッカー(6年生)	14,513	12,122
曜日	学 校	放課後	昼休み	体 育																																																			
月	6,924	4,371	578	924																																																			
火	4,878	4,613	956																																																				
水	8,912	5,505	1,403	1,171																																																			
木	6,155	4,119	(観劇)																																																				
金	6,624	4,749	1,203																																																				
地 域	男 子	女 子																																																					
H23東京都(6年生)	13,372	9,950																																																					
H21新潟県(高学年)	15,385	13,390																																																					
H25広島県(高学年)	14,895	10,480																																																					
体育授業内容	平均歩数	体育なし																																																					
持久走(4年生)	14,342	10,894																																																					
ハードル走(5年生)	11,241	11,361																																																					
サッカー(6年生)	14,513	12,122																																																					
<p>2 学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 健康な生活を送るための運動プログラムを考えよう。 </div>	<p>・科学的データの活用②</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; color: red;">健康 ← 運動 → スポーツ</p> <p>・一日60分 ・一日1万歩</p> <p style="text-align: center; color: yellow;">運動の仕方に違いが出てくる</p> <p>・運動時間 → 一日60分(連続でなくてもよい) ・運動強度 → 楽しい、心地よい、やや息切れ ・運動頻度 → 一日60分、1万歩</p> <p style="color: red;">【課題把握：知識理解】</p> </div>																																																						
<p>3 健康のための運動について理解する。(科学的データの提示②)</p>																																																							
<p>4 グループで普段からできる運動について考える。</p> <p>・各グループで運動を考えてみましょう。運動の資料も掲示していますので、活用してください。</p> <p>○かけっこフラフープを使って何か運動ができないかな。</p> <p>○力試しの棒引きをグループ対抗にしたらどうかな。</p> <p>○同じ用具を操作するだけど、縄跳びとボールを組み合わせると何か運動を考えてみようよ。</p>																																																							
<p>5 後片付けをして、次時学習の進め方を確認する。</p>																																																							

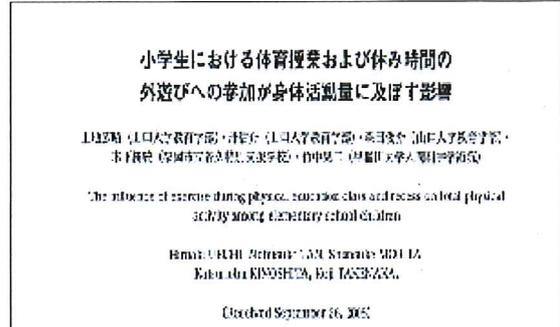
II 課題把握・課題解決の活用資料

○科学的データの活用①

A 児童歩行数データ(項目別)【課題把握：身近さ】

*運動習慣調査結果より

B 体育授業の内容と平均歩行数【多様性】



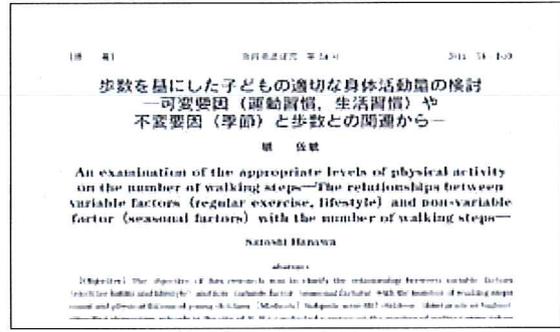
*『山口大学教育学部研究論叢』より

C 他地域の子どもの歩行数【多様性】



*『発育発達研究第51号』より

D 他地域の子どもの歩行数【多様性】



*『発育発達研究第54号』より

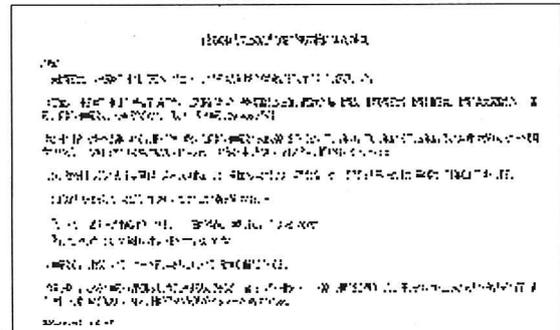
○科学的データの活用②

A 身体活動・運動の目標【多様性】



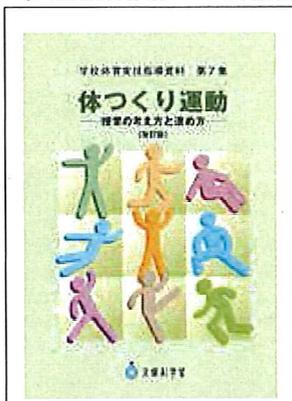
*日本学術会議『子どもを元気にする運動・スポーツの適正実施のための基本指針』より

B 体力の定義【多様性：知識理解】



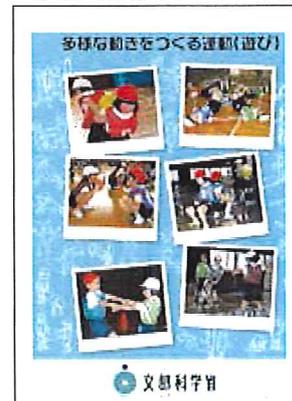
*文部科学省『子どもの体力向上のための総合的な方策について(答申)』より

C 多様な動きをつくる運動資料【多様性】



*文部科学省『学校体育実技指導資料第7集 一体づくり運動』より

D 多様な動きをつくる運動資料【多様性】



*文部科学省『多様な動きをつくる運動(遊び)パンフレット』より

Ⅲ 授業の実際【3年④体育】

1 自分たちの運動習慣について振り返る場面 (科学的データの活用①)



前時(保健)の振り返りから、再度自分たちの運動習慣の集計表を提示し、見直し案を振り返った。特に、放課後の改善案を考えたことを押さえ、本時では体育授業の改善案を考えることを理解させた。前時でも提示した体育授業における歩数のデータを使い体育の内容でも違うことを押さえ、これまでの学習を振り返りながら運動プログラムを作成することを確認した。

子ども達は、放課後の外遊びの大切さを覚えてはいたが、反応はあまりよくなかった。前時と同じデータを使ったため、新鮮さがなかったと考えられる。

2 健康のための運動について理解する場面 (科学的データの活用②)



運動プログラムを作成する前に、「健康のための運動」について共通理解を図った。事前アンケートの運動時間・運動強度・運動頻度の項目で、「長ければ長いほどよい」「強ければ強いほどよい」という意識があったため、健康のための運動について理解させた。

「健康のための運動」と「競技力向上のための運動」との違いについてとらえさせることができた。「健康のための運動」の観点を与えることで、考える運動プログラムが遊びの延長やただの楽しい運動にならないようにするねらいがあった。

3 グループで運動を考える場面



4～5人の6グループに分け、運動プログラムを作成させた。これまでの運動を想起できるようなワークシートを配布し、それらを工夫して組み合わせて運動を考えられるようにした。また、一人一人に活動量計を付けさせ、運動前後の歩数をカウントさせ活動量の手がかりとさせた。

それぞれのグループで話し合いながら、多様な動きをつくる運動の4観点から組み合わせて、試行錯誤しながら考えている様子が見られた。考えた運動は、縄跳びとボールを組み合わせた運動や折り返しの運動と力試しの運動とを組み合わせた運動などである。



運動プログラムを作成する際に、文部科学省から出されている「多様な動きをつくる運動(遊び)パンフレット」を掲示した。「体を移動する運動」「体のバランスをとる運動」「力試しの運動」「用具を操作する運動」の4つの観点に分けてまとめられており、作成の際のヒントとなると考えた。

しかし、子ども達に掲示した資料を活用している様子は見られなかった。グループでどんどん活動しながら運動を考えていた。中には、グループを半分に分け、それぞれで考えているところもあった。めあての確認が不十分であったと考えられる。

